

希望学年通信

山形市立第一中学校

第1学年 2024/07/04

No.23 文責：岡崎裕子

パリオリンピック水球男子主将 ^{すずきとうい} 鈴木透生選手 壮行会が行われました。

鈴木透生選手のお話より

*後輩の皆さんには**夢や目標を持つこと**の大切さを伝えたい。

透生さんは、小学校1年生から水球を始め、ちょうど山形一中2年生の時に東京でオリンピックが開催されることが決定した。その時「自分もオリンピックに出たい」と思った。大学4年生の時、日本代表のメンバーに選ばれ、試合にでることができた。

*オリンピックのような「4年に一度の大会」に向けて準備することはとても大変。きつい練習、諦めそうになる時、いつも大事にしていることは「初心にかえる」「初心を忘れない」ということ。今頑張っている、一生懸命に取り組んでいるのは「なぜ頑張っているのか」を自分自身に問い直してきた。自分がやろうと選んだからには、「なぜそれをやろうと思ったのか」「なぜ頑張っているのか」を常に心にとめてやっている。中学生の皆さんにも同じような場面があるのではないかな。

*夢を叶えるためのチャンスは、必ず目の前にやってくる。それをものにすることが大事。一中生の後輩のみなさんにもそれを伝えたい。

*一中生の応援をうけて、自分が中学生だった頃と変わりなく、応援をしてもらって「初心」を思い出した。一中の卒業生として、一中の代表として頑張ってきた。そして、また、もどってきます。



*24歳の鈴木透生選手は、昨年、世界水泳の大会の前にも一中に来て下さいました。その時、「これからあるアジア大会で優勝してパリオリンピックの出場権を得たい。」とお話し下さいました。

『有言実行』2023年のアジア大会で主将として出場し、見事優勝。パリオリンピックの出場権を獲得しました。



*どこか遠い世界だった「オリンピック」が、グッと近く感じませんか？

我が一中の先輩が出場するのです！この夏、パリオリンピックについての放送がたくさんあると思います。いろいろな競技が注目されていますが、是非、水球日本代表を、鈴木透生選手を応援しましょう！！！！